

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価表）					対象年度		令和5年度		
事業番号	71	事業名	中央図書館運営事業 (大事業名) 中央図書館事業		担当課		中央図書館		
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-4-1 中央図書館運営事業		
					決算書ページ		229 ~ 230 一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち		事業開始の背景	市民の読書活動を支える場として、平成4年度に開館した。		
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備					
		施策	(1)	子どもが主体的に学ぶ機会の創出					
	その他	開始年度		平成4年度		市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可	
		終了予定年度		☐ 年度	☒ 未定				
		根拠法令等		図書館法					
		関連計画		第3次長久手市子ども読書活動推進計画					
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）			
		①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 82,582人(うち人口 61,077人) 【事業内容】 図書館法に基づき、図書等を収集、整理、保存し、提供する。読書に関わる他部署等との連携や、社会教育施設として読書環境を整える。		【アクションプラン指標】 ・中央図書館での小学生までの貸出冊数【単年】 ・郷土資料等の資料数【累計】 【その他の指標】 ・図書ボランティアの活躍により、市民参加型の図書館運営を継続する。 ・中央図書館及び連携事業での児童サービスにより、乳幼児期からの読書が活発になる。 ・郷土資料等の蔵書増加により、市民の生活及び地域の課題解決に役立つ。		連携事業の推進及び図書ボランティアとの協働により、市民の貸出点数や読書機会が増える。 (成果指標名) 長久手市の人口一人あたりの市民貸出点数		大 事 業 共 通 乳幼児から高齢者まで全ての市民が集う社会教育施設として読書環境が整い、図書館が生涯を通じて読書に親しむ場となる。	

II

活動状況（アウトプットの詳細）

活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
	1	【アクションプラン事業】 中央図書館での小学生までの貸出冊数【単年】	冊	基準値	136,000	見込	151,000	146,000	147,500	147,500	147,500
				目標値	151,000	実績	143,756				
	2	【アクションプラン事業】 郷土資料等の資料数【累計】	冊	基準値	7,600	見込	8,800	8,750	8,900	9,050	9,200
				目標値	8,800	実績	8,763				
	3	【その他指標】 図書ボランティアの人数	人	基準値	-	見込	110	123	124	125	126
				目標値	-	実績	122				
	4			基準値		見込					
目標値					実績						
エピソード	事業開始からの経緯										
	令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館や開館時間短縮等により貸出点数が減少していたが、令和4年度に通常開館に戻り来館者が増えている。 平成25年度から子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書環境の整備、読書のきっかけづくりや読書の習慣化を図るため、学校等との連携事業や図書ボランティアとの協働により児童サービスの充実化を図る。 開館以降、図書等の資料収集に努め、蔵書冊数は約25万冊に達している。										
	R5(2023)年度を取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
	・読書機会を増やす取り組みとして、ブックスタート事業におけるブックスタートパック（絵本、赤ちゃん向けおすすめ絵本リスト、布バッグ）の配布を、令和6年4月から長久手市保健センターの3～4か月児健康診査で実施するため、令和5年度はブックスタート会場で読み聞かせをするボランティアの育成を開始した。保健センターでの配布により、絵本に親しみ、図書館への来館機会が増加する効果を期待している。 ・幼児向けイベントとしてぬいぐるみお泊まり会を実施し、普段図書館を利用しない市民の参加があり、図書館の利用へつなげた。 ・5冊の郷土資料の電子データ化を行い、中央図書館ホームページに掲載した。 ・令和6年4月からの窓口等業務委託の開始に伴い、委託業者との綿密な打合せや引継ぎを実施した。										

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		長久手市の人口一人あたりの市民貸出点数	点	R1 年度		R4 年度		【現状】 R5 年度		R6 年度		R7 年度	
				5.1		5.5		5.5		5.8		5.8	
		成果達成状況				指標目標値の根拠							
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				人口一人あたりの市民貸出点数はコロナ禍前の令和元年度と比較して、ICシステム導入の影響もあり、0.4点増加している。令和6年度から貸出冊数を増やすことから、今後も増加すると見込み、令和5年度実績の5%増加を目標設定した。						
	評価の理由、分析												
	令和3年度のICシステム導入により、貸出点数の増加につながった。令和6年度から貸出点数を一人あたり5冊から10冊へ、予約冊数を一人あたり3冊から6冊へ拡大するため、人口一人あたりの貸出点数も増加することを期待している。												
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由									
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止	令和6年度よりカウンターの窓口等業務委託を実施し、貸出及び予約冊数の増加など、利用者サービスの拡大を行う一方、市職員の人員体制が委託前よりも減ったため、民間のアイデアなどを取り入れながら事業の見直しを実施していく必要がある。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度		
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	R7年度の費用（R6年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)		R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度	
		B	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	予算	決算	予算	決算	
			106,250			76,646	69,451	71,386	73,032		
		理由			特定財源	合計額	114	104	121	91	16,327
		図書館システムを更新する必要があるため。令和6年度はシステムの再リースを実施しシステム運用にかかる費用が安価になっており、令和6年度より高額になる見込みのため。				(内 国費)					
						(内 県費)					
						(内 諸収入)	114	104	121	91	15,898
						(内 その他)					429
		積算額			一般財源		106,136	76,542	69,335	71,295	56,705
		未定			R6年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R5年度予算額）＞ 図書館運営協議会委員報酬 73千円（73千円）会計年度任用職員報酬 13,935千円（22,915千円） 会計年度任用職員期末手当 2,783千円（4,548千円）会計年度任用職員勤勉手当 2,329千円（0千円） 普通旅費 10千円（18千円）特別旅費 20千円（40千円）会計年度任用職員旅費 12千円（24千円） 会計年度任用職員通勤費 359千円（462千円）消耗品費 2,449千円（2,449千円） 燃料費 31千円（31千円）食糧費 14千円（14千円） 印刷製本費 380千円（383千円）光熱水費 11,757千円（15,593千円） 修繕料 60千円（60千円）通信運搬費 372千円（374千円） 自動車損害保険料 32千円（14千円）車検手数料 33千円（0千円） 洗車手数料 7千円（7千円）コンピュータ運用業務委託 5,506千円（5,283千円） 図書情報作成委託 54千円（94千円）図書資料装備委託 92千円（152千円） 図書消毒機保守委託 83千円（83千円）窓口等業務委託 44,500千円（0千円） 道路通行料 5千円（10千円）放送受信料 42千円（54千円） 自動車借上料 129千円（139千円）コンピュータ賃借料 2,513千円（4,020千円） 図書情報使用料 1,540千円（1,540千円）図書資料 17,000千円（17,000千円） 施設管理用備品 58千円（58千円）日本図書館協会負担金 37千円（37千円） 県図書館協会負担金 9千円（9千円）県公立図書館長協議会負担金 5千円（5千円） 尾張部公共図書館連絡協議会研修会負担金 2千円（2千円）図書館職員講習会負担金 10千円（10千円） 重量税 9千円（0千円）						